

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨の魅力		第5章② P.137～139	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	3学年公民的分野

### 1. 教材のねらいと概要

第5章①山梨県の人口を受けて、山梨の魅力や誇れるものを再確認するとともに、これからの山梨の産業発展を考えさせたい。

- ・移住希望調査の結果から「山梨に住みたい」と思う人たちの視点で、実際に山梨へ移住された家族の様子を紹介しながら、山梨の魅力について考えさせる。
- ・魅力ある自然環境を活用した観光産業を取り上げ、県外観光客や外国人の視点から、何を求めて山梨を訪れるのかを考え、迎える側の私たちはどんな努力や工夫が必要なのか考えさせる。
- ・「技術で未来を切り開く」として宝飾産業技術のスゴ技研磨職人と燃料電池研究を進めている山梨大学の研究センターを紹介している。この学習を通して、「山梨っていいな」と気付かせたい。

### 2. 活用例

教科名等	社会科	単元(題材)名等	地方自治と住民の参加	時間
	活用場面		活用のポイント	
公民分野「地方自治と住民の参加」の中で、地域の課題と対策について学習する。		人口減少や人口流出などの課題を抱える地域社会に目を向け、ふるさと山梨の現状と対策などについて考えるとともに、「山梨の良さ・魅力」について再認識させたい。 ・移住希望地域ランキングで近年山梨県が上位にランクインしていることから、山梨の魅力を考える。 ・山梨県に観光で訪れる人たちが山梨で生活する外国人のデータや声から、山梨の魅力を考える。 ・世界に誇る宝飾産業技術や燃料電池研究など山梨の産業の魅力を再発見する。		50分(家庭学習も可)

### 3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.137	なぜ、山梨県が住みたい地域に選ばれるのかな。	県外の方から見た山梨の魅力に気付かせたい。	豊かな自然、首都圏から近いなどが考えられるが、できるだけたくさんあげさせたい。
P.137	山梨県をはじめ、上位に入っている県の共通点は何だろう。	ここでは、長野と山梨の共通点に気付かせたい。	豊かな自然、首都圏から近いなどが考えられるが、できるだけたくさんあげさせたい。
P.137	上のデータは、やまなし暮らし支援センターにおける相談件数および移住者数です。どのようなことを相談するのでしょうか。	実際に生活していくために、どのようなことを考えなければならないか、視点を持たせたい。	住宅環境、子育てをはじめ教育環境、労働環境、交通環境など。
P.137	山梨県のことをどのように思っているのか、他の都道府県の人たちや外国人の人に聞いて調べてみましょう。	県外の人や外国人に、実際に話を聞いてみるのが望ましい。	略
P.138	より多くの人に山梨を訪れてもらうためには、どうしたらよいのかな。	交流人口の増加を目指すには、どのような工夫が必要か、多面的・多角的に考察させたい。	略
P.138	県外や外国の人たちに「山梨にまた来たい」と思ってもらうために、どのような努力や工夫が必要でしょうか。	より多くの人に山梨を訪れてもらうための地域づく参画しようとする態度を養いたい。	おもてなしの心、心地よい環境づくりなど自分たちができることを考える。持続可能な将来的なまちの在り方も考えさせたい。
P.139	燃料電池が普及すると、私たちの生活は具体的にどのように変わるのかな。	燃料電池というクリーンエネルギーが普及することで暮らしがどう変わるかイメージさせるとともに、そんな燃料電池の研究を進めている研究センターが山梨にあることに気付かせたい。	地球温暖化にストップがかかる。石油などの資源の輸入に頼らなくなる。新しい産業、製品が登場して経済が発展する。など様々なことが考えられる。
P.139	山梨県は、今後どのような産業を伸ばしていけばよいでしょうか。	伝統産業である宝飾産業技術や最先端の燃料電池研究など、技術で未来を開こうとする山梨の産業について関心を持たせたい。	略

### 4. 写真・資料の補説

#### (1) 移住希望ランキング (P.137)

2016年の移住希望地域ランキングでは、山梨県が1位であった。移住相談も増えている。しかし、人口減少が続いている現状と比較させ、定住人口を増やすための課題と解決策を考察させたい。

#### (2) 観光に関するグラフⅠ・Ⅱ・Ⅲ (P.138)

それぞれの資料から何が言えるのかを考えさせたい。そしてさらなる観光産業の発展にむけて思考を広げてほしい。

#### (3) スゴ技研磨職人 (P.139)

宝石研磨職人の清水幸雄さんは、この業界では大変は有名な方である。清水さんの技術は、県内外はもちろん、世界的にも高い評価を得ていて注目されている。現在は後継者育成のために、県立宝石美術専門学校でもご指導にあたっている。

#### (4) 燃料電池

国内のいろいろなところで「燃料電池」の研究・開発はすすめられている。「エネルギー地産地消」を県政の目標に掲げている山梨県では、山梨大学燃料電池ナノ材料研究センターにおける研究開発を支援している。当HPは若干専門的で難しいが、水しか排出しないという仕組みと、将来的に大変注目されているエネルギーの開発に取り組んでいることを理解させたい。

### 5. 参考文献・関連施設等

関連施設名	住所	電話
山梨県観光部観光企画課	〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1	055-223-3776
参考ホームページ		
富士の国やまなし観光ネット< <a href="http://www.yamanashi-kankou.jp/">http://www.yamanashi-kankou.jp/</a> >		
やまなし暮らし支援センター< <a href="http://www.yamanashi-kankou.jp/yamanashikurashi/">http://www.yamanashi-kankou.jp/yamanashikurashi/</a> >		